

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 7 月 8 日(2022.7.8)

【公開番号】特開 2021-87699(P2021-87699A)
【公開日】令和 3 年 6 月 10 日(2021.6.10)
【年通号数】公開・登録公報 2021-026
【出願番号】特願 2019-220738(P2019-220738)
【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

A 6 3 F 7/02(2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 6 1

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 6 月 30 日(2022.6.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動条件の成立に基づいて、当りに関する抽選情報を取得し、前記抽選情報に基づいて抽選を実行する抽選手段と、

開始条件の成立に基づいて変動を実行する変動実行手段と、

前記抽選手段による抽選の結果に基づく変動パターンに基づいて、複数の演出の中から演出を決定する演出決定手段と、

前記演出決定手段によって決定された演出を表示可能な演出表示手段と、

30

前記始動条件の成立は満たされたものの前記開始条件の成立が満たされなかった場合には、所定数を上限として前記抽選情報を記憶する保留手段と、

前記保留手段が記憶した前記抽選情報及び実行中の変動に対応する抽選情報それぞれに対応する保留表示を、前記演出表示手段に表示する保留表示手段と、を備え、

前記複数の演出は、

前記保留表示を認識不能にし該認識不能にされた保留表示を再認識させる演出を実行可能であり、該演出が実行される場合に特定音が出力される第 1 演出と、

変動中およびはずれ変動における図柄確定時にも表示される通常背景及び前記保留表示を第 1 時間認識不能にし、前記第 1 時間が経過すると、前記通常背景を再認識させ、かつ前記特定音を出力することなく前記保留表示を再認識させる第 2 演出と、

40

前記通常背景及び前記保留表示を前記第 1 時間よりも長い第 2 時間認識不能にし、前記第 2 時間が経過すると、前記通常背景を再認識させ、かつ前記特定音を出力することなく前記保留表示を再認識させる第 3 演出と、を含み、

前記第 3 演出において前記通常背景を再認識させたときの装飾図柄の変動表示態様と、前記第 1 演出において前記保留表示を再認識させたときの前記装飾図柄の変動表示態様とは異なり、

前記第 1 演出が現出される割合は前記第 3 演出が現出される割合より高く、

1 回の前記変動において、前記装飾図柄がリーチ状態を形成する前に前記第 2 演出を実行し、前記装飾図柄が当該リーチ状態を形成した後に前記第 3 演出を実行することを可能とし、

50

前記第 2 演出および前記第 3 演出が実行される前記 1 回の変動において、前記装飾図柄がリーチ状態を形成する前に前記第 1 演出を実行可能とする
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

始動条件の成立に基づいて、当りに関する抽選情報を取得し、前記抽選情報に基づいて抽選を実行する抽選手段と、

10

開始条件の成立に基づいて変動を実行する変動実行手段と、

前記抽選手段による抽選の結果に基づく変動パターンに基づいて、複数の演出の中から演出を決定する演出決定手段と、

前記演出決定手段によって決定された演出を表示可能な演出表示手段と、

前記始動条件の成立は満たされたものの前記開始条件の成立が満たされなかった場合には、所定数を上限として前記抽選情報を記憶する保留手段と、

前記保留手段が記憶した前記抽選情報及び実行中の変動に対応する抽選情報それぞれに対応する保留表示を、前記演出表示手段に表示する保留表示手段と、を備え、

前記複数の演出は、

20

前記保留表示を認識不能にし該認識不能にされた保留表示を再認識させる演出を実行可能であり、該演出が実行される場合に特定音が出力される第 1 演出と、

変動中およびはずれ変動における図柄確定時にも表示される通常背景及び前記保留表示を第 1 時間認識不能にし、前記第 1 時間が経過すると、前記通常背景を再認識させ、かつ前記特定音を出力することなく前記保留表示を再認識させる第 2 演出と、

前記通常背景及び前記保留表示を前記第 1 時間よりも長い第 2 時間認識不能にし、前記第 2 時間が経過すると、前記通常背景を再認識させ、かつ前記特定音を出力することなく前記保留表示を再認識させる第 3 演出と、を含み、

前記第 3 演出において前記通常背景を再認識させたときの装飾図柄の変動表示態様と、前記第 1 演出において前記保留表示を再認識させたときの前記装飾図柄の変動表示態様とは異なり、

30

前記第 1 演出が現出される割合は前記第 3 演出が現出される割合より高く、

1 回の前記変動において、前記装飾図柄がリーチ状態を形成する前に前記第 2 演出を実行し、前記装飾図柄が当該リーチ状態を形成した後に前記第 3 演出を実行することを可能とし、

前記第 2 演出および前記第 3 演出が実行される前記 1 回の変動において、前記装飾図柄がリーチ状態を形成する前に前記第 1 演出を実行可能とする

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

40